

松江市 報道提供資料

令和6年1月29日

取り扱い注意

解禁日時

2月5日（月）18：00
（市審議会終了後）

件名

「松江城正保年間絵図」の松江市指定文化財への指定について

内容

2月5日（月）に開催予定の松江市文化財保護審議会において、「松江城正保年間絵図」を松江市指定文化財へ指定すべきと松江市長に答申される予定です。

詳細は、別紙のとおりです。

【問い合わせ】

文化スポーツ部 文化財課

担当：有田・石倉

電話：0852-55-5523

〔絵図の内容について〕

文化スポーツ部 松江城・史料調査課

担当：木下

電話：0852-55-5959

【取り扱い注意】

解禁日時:2月5日(月)18:00

別紙

松江市指定文化財の指定について

2月5日(月)に開催される松江市文化財保護審議会(会長 佐藤 信)において、以下の文化財を松江市指定文化財に指定すべきと答申される予定です。

概要は以下のとおりです。

別紙に掲載する画像データをご入用の際は、松江市文化スポーツ部文化財課(bunkazai@city.matsue.lg.jp)までご連絡ください。

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| (1) 種 別 | 有形文化財(歴史資料) |
| (2) 名称・員数 | 松江城正保年間絵図 1鋪 <small>しき</small> |
| (3) 法 量 | 短辺(東西)288.0cm×長辺(南北)326.5cm |
| (4) 所 有 者 | 個人 |
| (5) 所 在 地 | 松江歴史館(松江市殿町279)(寄託) |
| (6) 概 要 | |

「松江城正保年間絵図」は、松江城とその城下を描いた絵図である。折仕立装で、紙本に著色をもって描く。作製年代は不明であるが、城郭の外観、構造を精緻に描き、本丸等の間数、石垣の高さや堀の深さなどを注記するほか、城郭周辺の町割や山河といった地形も描写しており、松江城下の全容を把握することができる。

本図は松江藩で家老を務めた乙部九郎兵衛家に伝わる。乙部九郎兵衛家は、もとは越前松平家に仕えた家系で、松平直政の出雲国への転封とともに重臣として付き従い、幕末に至るまで松江松平家に重用された。

「松江城正保年間絵図」は、重要文化財『正保城絵図』の一つである「出雲国松江城絵図」と多くの点で共通する。『正保城絵図』とは、正保元年(1644)12月に江戸幕府が国絵図、郷帳とともに諸藩へ提出を命じた城絵図である。諸藩により調進された原本のうち63鋪が『正保城絵図』として国立公文書館の内閣文庫に収められており、全国各地における城下町形成の初期段階の様子を知り得る貴重な資料である。

「松江城正保年間絵図」と「出雲国松江城絵図」を比較すると、堀や門など一部の描写が異なり、幕府献上図である後者が丁寧に描かれて記載の字句が多いなどの相違点がある。しかし、大部分の記載内容、形態、法量などがほぼ同じであることから、「松江城正保年間絵図」は『正保城絵図』と密接に関連する絵図であると指摘できる。

(7) 指 定 理 由

「松江城正保年間絵図」は、『正保城絵図』の「出雲国松江城絵図」と密接に関連する貴重な城絵図である。「出雲国松江城絵図」と同じく松江松平家初代藩主松平直政期の松江城とその城下を描く数少ない絵図で、松江城と城下の初期段階の様相を考えるうえで示唆に富む資料である。なお、松平直政の重臣の乙部九郎兵衛家に伝わる資料であり、『正保城絵図』と密接に関わる城絵図が国元に伝存したことを示す点も意義深い。

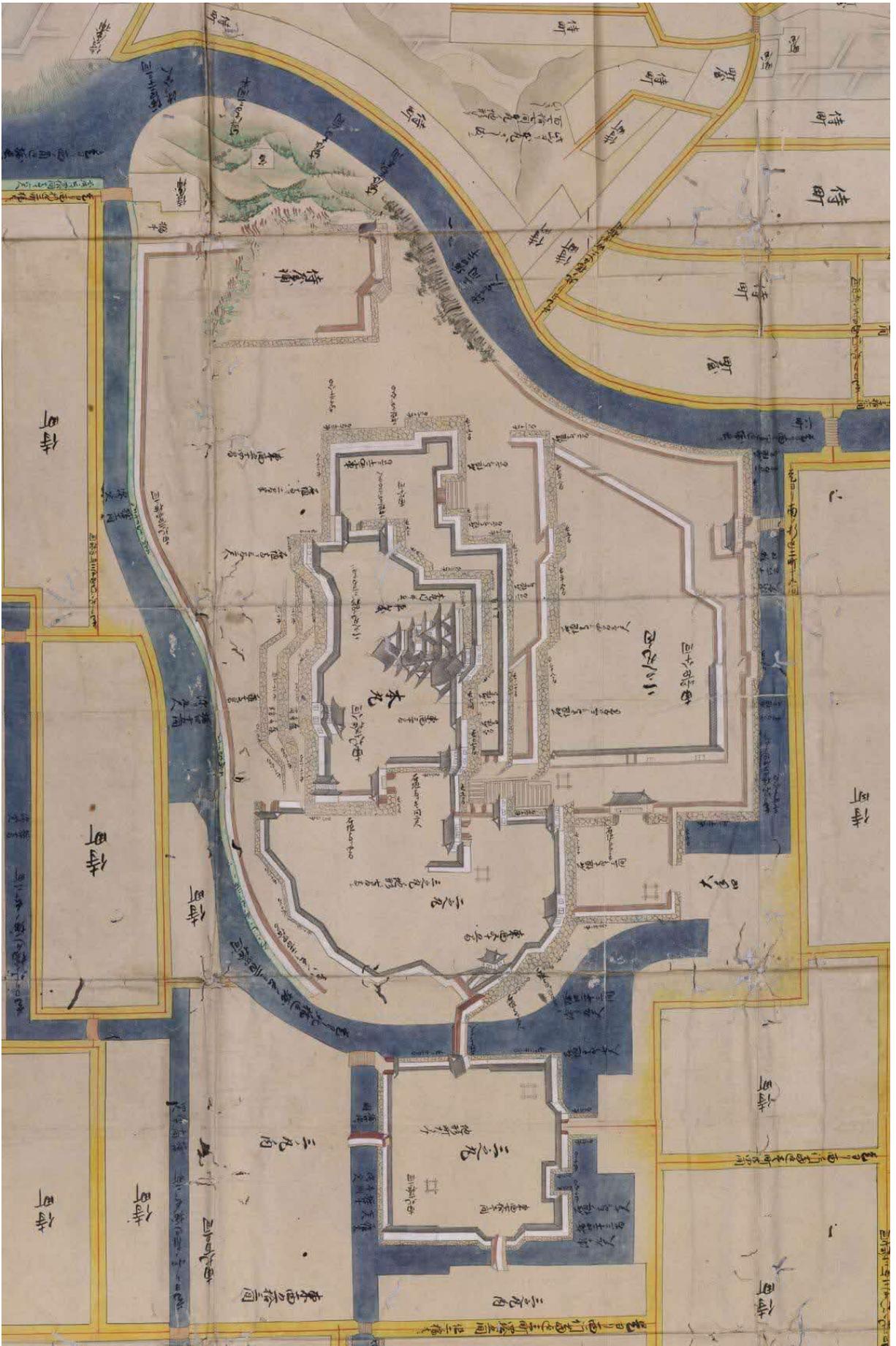
本図は松江城研究を進めるうえで極めて学術的価値が高い資料であるため、松江市の指定文化財として保存していくことが適当である。

【補足】

- (1) 指定名称の「正保年間」は、絵図の作製年代ではなく『正保城絵図』との関連を示すもの。



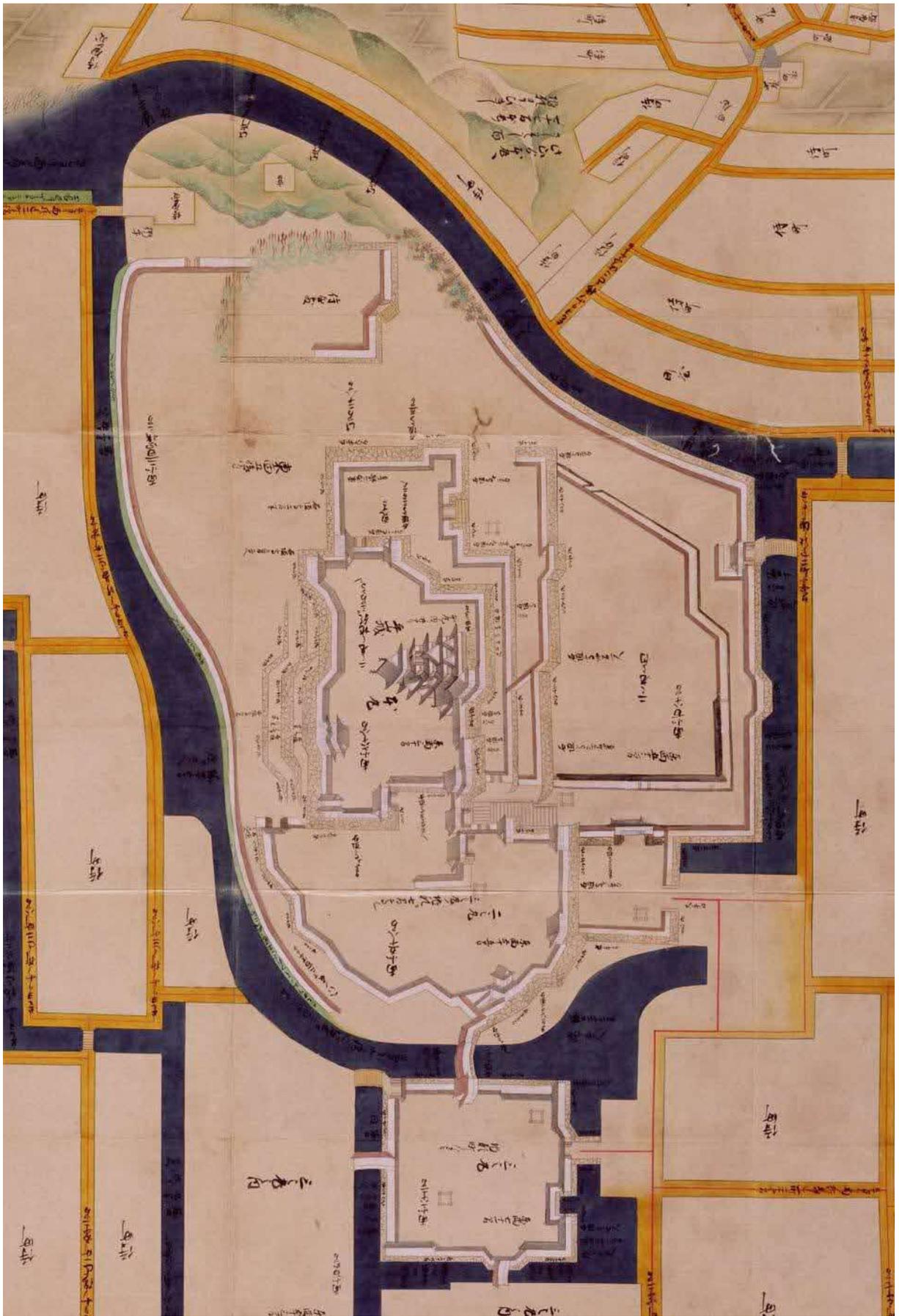
松江城正保年間絵図（個人蔵、松江歴史館寄託、288.0 cm×326.5 cm）



松江城正保年間絵図（城郭部分）



【参考】出雲国松江城絵図（国立公文書館内閣文庫蔵、274 cm×324 cm、重要文化財）



【参考】出雲国松江城絵図（城郭部分）